

「北地区町内会・自治会連絡会」「木刈中学校PTA」の 北総線の署名について

北地区町内会・自治会を通じ「北総線利用者の負担軽減を求める署名」がまわりまわりました。この署名の趣旨は「平成27年4月1日以降も、千葉県と沿線自治体が財政支援して現行レベルの運賃水準を継続すること」を求めているように読みとれます。私達は、疑問点をただすため、**た(裏面)**。補助金を続けるか政治問題です。これをめぐる諸



主催団体に質問書を提出しましたどうかは、慎重に扱われるべき問題を考えてみましょう。

Q 自治体の財政支援って何ですか？

A 北総線上に成田スカイアクセスを走らせるに際し、北総線値下げの期待の高まりに応じる形で、通学定期 25% (印西・白井の市民はそれまでの助成が継続されただけで値下げの実感はなし) など平均 4.6%の値下げが実施されました。この財源に県が年 1.5 億円、沿線6市が年 1.5 億円 (印西 8100 万円) を北総鉄道に助成するとの「合意」が平成 21 年 11 月 30 日に関係者間で結ばれました。

Q なぜ「27年度以降」が問題に？

A この「合意」の期限は 26 年度迄です。27 年度以降は「北総鉄道の経営状況を勘案し…関係者間で協議する」となっています。これに関し、同時に結んだ「確認書」で、千葉県は「27 年度以降の補助金の支出を現時点で確約することはできない」としているのに対し、京成電鉄と北総鉄道は「27 年度以降の運賃値下げの継続は補助金の支出継続が前提である」と強硬な主張をしているのです。ですから、現時点で「補助金を継続すべし」というのは、鉄道会社の主張を代弁して自治体に圧力をかけるという、市民として全く許されない行為となってしまいます。

ちがひを、考えしてみよう

Q & A

Q でも北総鉄道も大変なんですよ？

A 同社の収入、利益は年々増加して 23 年度決算では税引き前利益 37.6 億円と大手民鉄平均の 2 倍の高い利益率を上げています。債務超過も今期で解消し、返済条件の変更で毎年の借金返済額も大幅に減りました。値下げは補助金など要求せず、自力で行うべきです。また、成田スカイアクセスを走らせている親会社の京成電鉄に正当な線路使用料を要求し、京成に横取りされている運賃配分を正常に戻せば、さらに大幅な運賃値下げの原資ができます。

Q 素朴な願いの署名のどこが問題？

A これまで、善意で素朴な願いで応じた署名が、本来の趣旨を歪曲され政治的に使われることがありました。平成 22 年 1 月、北地区町内会自治会連合会がクリーンセンターに関して集めた署名が、9 住区への移転を正当化する理由に使われ批判されました。また平成 22 年 5 月には同連絡会「代表理事・金丸和史」名で、白井市議会に「北総鉄道への運賃助成実施」の要望者が出されました。これは当時、補助金支出をめぐる白井議会が真っ二つに分かれていた中、他市の自治会の異様な働きかけとしてひんしゆくを買いました。三度こんな事があってはなりません。

北総線の運賃値下げを実現する会 2013/3/10

連絡先 白井市堀込 2-1-5-704 TEL&FAX 047-492-4537

●HPへどうぞ ⇒ **北実会** で検索。

「北総線利用者の負担軽減を求める署名」についての質問

印西市中央駅北地区町内会・自治会連絡会 代表 福場 正弘 様

印西市立木刈中学校PTA 会長 松崎 比呂美 様

早春の候、あなた様におかれては益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

私共「北総線の運賃値下げを実現する会」は、永年、北総線の運賃値下げを求めて白井市、印西市を中心に運動している住民団体ですが、この度、あなた様方ご両名の連名で「北総線利用者の負担軽減を求める署名」を沿線住民・利用者によびかけ、印西市の中央駅北地区町内会自治会連絡会の会員を対象に署名運動を行っている聞き及びました。

その署名簿を拝見したところ、その内容は、北総線の運賃値下げの正しい解決にとって見過ごせない問題点と、私たちの運動方向を妨げる内容が含まれていると思われまますので、署名運動の意図と文面からは伺えないいくつかの疑問点についてお尋ねし、あわせて、集められた署名の扱い方について要望をいたしたく、この文書をもって公開質問をさせていただきます。

ご回答は、3月末日までに下記事務局に宛て、郵送・FAX・メール等いずれかの方法でお送り下さいますようお願いいたします。

記

質問1. この署名の要望事項は、「記(1)(2)(3)」とあります。

前文の「『万が一、財政支援がなくなった場合、北総線運賃が現状より高くなるのでは』と不安視しております。(中略)これらのことと『北総線運賃の負担軽減』とは切り離すことはできないと考え」という文章と(1)の文章を続けると、これらの文脈全体は、端的にいうと「財政支援を続けて、現行レベルの負担軽減(運賃の水準)を平成27年4月1日以降も継続する」という意味であると受け取れます。要望事項(1)はそういう内容であると理解して良いのでしょうか。この理解が間違いなら正しい意味を教えてください。

質問2. 署名を集める際に、提出先や提出方法を明記しないなどというのは、署名収集の基本的要件を欠いています。この署名の①差出人の団体名と代表者名、②提出先の団体名と代表者名、③提出時期と方法、④提出後のとりくみ方について教えてください。

質問3. 平成27年度以降の補助金については、白井市長は「支出しない」と議会で明言し、印西市市長も「補助金は出さない」と選挙で公約しています。この署名運動提起の際あなたはこのことを知っていましたか。知らなかったのでしょうか。この署名運動の検討段階で、この情報は誰からも伝えられなかったのでしょうか。

質問4. この署名運動へのとりくみは、お二人が代表(会長)名を掲げているところから、それぞれ所属する団体内で機関決定された結果と拝察しますが、この署名運動を提唱するに至った動機、経緯について教えてください。

質問5. ご存知のように、平成21年11月30日締結の合意書の平成27年度以降の取扱いについては、その終期が近づくにつれ、千葉県及び関係6市で補助金を継続するか、しないかの大きな政治問題になってくるのは確実です。そうしたとき、この署名が「補助金を継続すべし」と主張する党派によって、趣旨の曖昧さをいいことに「住民の要望」と歪曲して利用されることがあってはなりません。

この署名の提出先には、特定の主張に同調するような意図はないこと、そのような利用のされ方は厳しく排除すると伝えることを強く要望します。このことを確約していただけますかどうか、質問いたします。

2013年3月6日

北総線の運賃値下げを実現する会 会長 山下 兼男